

「佐賀県『食』と『農』の振興計画2023」 推進に向けた営農類型別の農業経営モデル

令和6年3月
佐賀県農林水産部

「営農類型別の農業経営モデル」策定に当たって

<基本的な考え方>

- 計画の目標実現に向けて、農業指導者等が経営改善に取り組む農家や新規就農希望者に対し、**具体的なイメージを持って**指導等が行えるよう、「営農類型別の農業経営モデル」を示す。
- その内容としては
 1. 経営改善に取り組む農家や新規就農希望者が、地域の担い手として農業で自立していけるような**認定農業者クラス**の「標準モデル」
 2. 努力次第で十分到達可能な、県内の**篤農家クラス**の経営を参考にした「発展モデル」
 3. 本県農業発展のために将来必要と考えられる、**全国トップクラス**と同等の先駆的な「佐賀さいこうモデル」を品目毎に提示する。
- この経営モデルは、状況の変化に応じて、随時、更新をしていくものとする。

各農業経営モデルの関係

佐賀さいこうモデル

本県農業の発展のために将来必要と考えられる全国トップクラスと同等の先駆的な経営モデル

大規模な農地集約や雇用、多角経営、先進技術導入を取り入れている。

発展モデル

県内の篤農家クラスの経営を参考に「標準モデル」から発展した経営モデル

標準モデルの技術を高い次元で駆使、規模拡大や雇用も行っている。

標準モデル

地域の担い手として、農業で自立していけるような経営モデル（認定農業者レベル）

現行、導入可能な水準の技術体系で行っている。

認定農業者ではないものの、これから経営改善に取り組む農家

新規就農希望者等

①所得目標

- 標準モデル | 経営体当たり550万円程度
- 発展モデル | 経営体当たり1,000万円程度
- 佐賀さいこうモデル | 経営体当たり4,000万円程度

②労働時間

- 年間1人当たり2,000時間以内

③経営形態

- 標準モデル 家族経営（2名+雇用）、集落営農法人
- 発展モデル 家族経営（2名+雇用）、集落営農法人
- 佐賀さいこうモデル 法人経営（2名+雇用）

農業経営モデルの前提条件

④単収

過去5か年の平均単収を基に目標単収を設定。なお、「発展モデル」は県の共進会や共励会での上位レベル、「佐賀さいこうモデル」は先進技術等を組み合わせた可能性を踏まえたレベルとして設定

⑤農産物価格

J Aの出荷データ等から試算

⑥借地代

10a当たり12,000円

⑦雇用労賃

- 常雇用 年間1人当たり400万円
- 臨時雇用 1時間当たり1,000円

⑧米麦大豆・飼料作物に係る所得

国の経営所得安定対策における交付金を加えて算定（R2～4平均単価）

農業経営モデル一覧（標準モデルと発展モデル）

営農類型	地域	経営モデル	標準	発展	頁
野菜作	全域	施設いちご	○	○	9
		施設きゅうり	○	○	10
		施設なす	○	○	11
		施設トマト	○	○	12
		こねぎ	○	○	13
	平坦部	アスパラガス	○	○	14
	中山間	ほうれんそう（+レタス）	○	○	15
		（参考）ピーマン	-		16
果樹作	全域	露地みかん+露地中晩柑	○	○	17
		露地みかん+ぶどう（シャインマスカット）	-	○	18
		ハウスみかん	○	○	19
		ハウスみかん+ハウス中晩柑	○	○	20
		なし	○	-	21
		なし+ぶどう	○	-	22
		なし+もも	○	○	23
花き作	全域	バラ	○	-	24
		キク	○	○	25
		トルコギキョウ	○	○	26

農業経営モデル一覧（標準モデルと発展モデル）

営農類型	地域	経営モデル	標準	発展	頁
畑作	全域	茶	○	—	27
水田作	平坦部	米・大豆＋露地野菜（たまねぎ）	○	○	28
		米・（麦）・大豆＋露地野菜（レタス）	○	○	29
		米・麦・大豆＋露地野菜（たまねぎ、キャベツ）	○	○	30
		米・麦・大豆＋露地野菜（たまねぎ、れんこん）	○	○	31
		米・麦・大豆＋露地野菜（ブロッコリー、（レタス、キャベツ））	○	○	32
		米・麦・大豆＋農作業受託	○	○	33
肉用牛経営	全域	繁殖	○	○	34
		肥育	○	○	35
		繁殖肥育一貫	○	○	36
		酪農経営	酪農	○	○
養豚経営	養豚一貫	○	○	38	
農産加工	全域	施設いちご＋いちご加工品	—	○	39
（参考） 集落営農法人	平坦部	米・麦・大豆（＋露地野菜（たまねぎ）） ※経営面積25ha規模	○	○	40
		米・麦・大豆（＋露地野菜（たまねぎ）） ※経営面積50ha規模	○	○	41
		米・麦・大豆（＋露地野菜（キャベツ）） ※経営面積250ha規模	○	○	42
（参考） 中山間地域の農地維持	中山間	農作業受託組織（米＋飼料用米）	—	—	43

農業経営モデル一覧（佐賀さいこうモデル）

営農類型	地域	経営モデル	頁
園芸作	全域	施設いちご	44
		施設きゅうり	45
果樹作	全域	温州みかん（露地・ハウス）＋中晩柑	46
花き作	全域	トルコギキョウ	47
水田作	平坦部	米・大豆＋露地野菜（たまねぎ）	48
肉用牛	全域	肉用牛繁殖肥育一貫	49

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	野菜作（施設いちご）	地域類型	全域
------	------------	------	----

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 3,350時間 経営面積 35a （借入地なし） 施設いちご （土耕） 35a	<ul style="list-style-type: none"> いちごさん等の新品種導入による収量の向上 肥培管理など基本技術の徹底 高設育苗による健苗の育成 光合成促進装置の効果的な使用による収量の向上 	普通ハウス 35a トラクタ 15ps 1台 ベンチ育苗施設 1式	5,920 〔粗収益 20,680〕 〔経営費 14,759〕	2,000時間
家族経営 2名 臨時雇用 1,280時間 経営面積 24a （借入地なし） 施設いちご （高設） 24a	<ul style="list-style-type: none"> いちごさん等の新品種導入による収量の向上 肥培管理など基本技術の徹底 高設育苗による健苗の育成 高設栽培の導入による軽作業化 光合成促進装置の効果的な使用による収量の向上 	普通ハウス 24a 高設栽培施設 1式 ベンチ育苗施設 1式	6,546 〔粗収益 17,016〕 〔経営費 10,471〕	2,000時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 臨時雇用 1,740時間 経営面積 40a （借入地なし） 施設いちご （土耕+環境制御） 20a 施設いちご （高設+環境制御） 20a	<ul style="list-style-type: none"> 雇用を導入した経営規模の拡大 パッケージセンターを活用した調整作業の省力化 ハウス内環境測定による環境の最適化 環境制御技術の導入による飛躍的な収量向上 	普通ハウス 20a 耐候性ハウス 20a 高設栽培施設 a 環境制御装置 1式 トラクタ 15ps 1式 ベンチ育苗施設 1台 1式	11,105 〔粗収益 34,033〕 〔経営費 22,928〕	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	野菜作（施設きゅうり）	地域類型	全域
------	-------------	------	----

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 118時間 経営面積 28a （借入地なし） 施設きゅうり 28a	<ul style="list-style-type: none"> ・新品種導入による収量の向上 ・肥培管理など基本技術の徹底 ・多層被覆やヒートポンプ導入など脱石油・省石油対策の実施 	耐候性ハウス 28a トラクタ 15ps 1台	5,434 〔粗収益 18,211〕 〔経営費 12,777〕	2,000時間
家族経営 2名 臨時雇用 500時間 経営面積 18a （借入地なし） 施設きゅうり （環境制御） 18a	<ul style="list-style-type: none"> ・新品種導入による収量の向上 ・肥培管理など基本技術の徹底 ・光合成促進装置の効果的な使用による収量の向上 	硬質PFハウス 18a 環境制御装置 1式 トラクタ 15ps 1台	6,243 〔粗収益 19,512〕 〔経営費 13,269〕	2,000時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 2名 臨時雇用 50時間 経営面積 53a （借入地なし） 施設きゅうり （環境制御） 53a	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用を導入した経営規模の拡大 ・ハウス内環境測定による環境の最適化 ・統合環境制御技術の導入による飛躍的な収量向上 	硬質PFハウス 53a 環境制御装置 1式 トラクタ 15ps 1台	12,402 〔粗収益 57,452〕 〔経営費 45,050〕	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

野菜作（施設なす）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 469時間 経営面積 28a （借入地なし） 施設なす 28a 水稻うるち 172a	<ul style="list-style-type: none"> ・単為結果性品種導入によるホルモン作業の軽減 ・肥培管理など基本技術の徹底 ・多層被覆や循環線導入など省石油対策の実施 	耐候性ハウス 28a トラクタ 15ps 1台	5,435 〔粗収益 17,795〕 〔経営費 12,360〕	2,000時間
家族経営 2名 経営面積 19a （借入地なし） 施設なす （環境制御） 19a	<ul style="list-style-type: none"> ・単為結果性品種導入によるホルモン作業の軽減 ・肥培管理など基本技術の徹底 ・光合成促進装置の効果的な使用による収量の向上 	硬質PFハウス 19a 環境制御装置 1式 トラクタ 15ps 1台	5,760 〔粗収益 14,513〕 〔経営費 8,753〕	1,700時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 2名 経営面積 68a （借入地なし） 施設なす 20a 施設なす （環境制御） 48a	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用を導入した経営規模の拡大 ・ハウス内環境測定による環境の最適化 ・統合環境制御技術の導入による飛躍的な収量向上 	耐候性ハウス 20a 硬質PFハウス 48a 環境制御装置 1式 トラクタ 15ps 2台	10,347 〔粗収益 47,775〕 〔経営費 37,428〕	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

野菜作（施設トマト）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 2,000時間 経営面積 50a （借入地なし） 施設トマト （丸トマト） 50a	<ul style="list-style-type: none"> ・耐病性品種の導入による収量の向上 ・肥培管理など基本技術の徹底 ・多層被覆や循環線導入など省石油対策の実施 ・光合成促進装置の効果的な使用による収量の向上 	耐候性ハウス 50a トラクタ 15ps 1台	5,858 粗収益 30,600 経営費 24,742	2,000時間
家族経営 2名 経営面積 35a （借入地なし） 施設トマト （丸トマト） 20a 施設トマト （ミニトマト） 15a	<ul style="list-style-type: none"> ・耐病性品種の導入による収量の向上 ・肥培管理など基本技術の徹底 ・多層被覆や循環線導入など省石油対策の実施 ・光合成促進装置の効果的な使用による収量の向上 	耐候性ハウス 20a 普通ハウス 15a トラクタ 15ps 2台	5,949 粗収益 20,529 経営費 14,580	2,000時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 2名 経営面積 60a （うち借入地20a） 施設トマト （丸トマト +環境制御） 60a	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用を導入した経営規模の拡大 ・ハウス内環境測定による環境の最適化 ・統合環境制御技術の導入による飛躍的な収量向上 	硬質PFハウス 60a 環境制御装置 1式 トラクタ 15ps 1台	12,372 粗収益 62,400 経営費 50,028	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

野菜作（こねぎ）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 7,250時間 経営面積 90a (借入地なし) こねぎ 90a	<ul style="list-style-type: none"> ・播種期の組合せによる周年出荷体制 	簡易パイプハウス 90a トラクタ 15PS 1台	5,932 [粗収益 31,500] [経営費 25,568]	2,000時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 5名 経営面積 210a (うち借入地10a) こねぎ 210a	<ul style="list-style-type: none"> ・播種期の組合せによる周年出荷体制 ・夏期高温対策による発芽率の向上 ・雇用を導入した経営規模の拡大 ・共同作業所による調整作業の省力化 	簡易パイプハウス 210a トラクタ 15PS 1台	11,327 [粗収益 73,500] [経営費 62,173]	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

野菜作（アスパラガス）

地域類型

平坦部

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 36a （借入地なし） アスパラガス 36a	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3.5トン/10aどりのための栽培技術の徹底 ・ 保温・立茎時期の組み合わせによる労力分散 	簡易パイプハウス 36a	5,461 [粗収益 13,986 経営費 8,525]	1,800時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 臨時雇用 1,300時間 経営面積 100a （借入地なし） アスパラガス 100a	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3.5トン/10aどりのための栽培技術の徹底 ・ 保温・立茎時期の組み合わせによる労力分散 ・ 雇用を導入した経営規模の拡大 	簡易パイプハウス 100a	10,046 [粗収益 38,850 経営費 28,804]	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

野菜作（ほうれんそう（+レタス））

地域類型

中山間

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 58a (借入地なし) ほうれんそう 58a	<ul style="list-style-type: none"> ・播種期の組合せによる周年出荷体制 ・真空播種機、自動包装機の導入等による省力化 	簡易パイプハウス 58a トラクタ 15PS 1台	6,060 [粗収益 16,443 経営費 10,383]	1,200時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 1,612時間 経営面積 160a (借入地なし) ほうれんそう 120a レタス 40a	<ul style="list-style-type: none"> ・播種期の組合せによる周年出荷体制 ・雇用を導入した経営規模の拡大 ・共同作業所による調整作業の省力化 	簡易パイプハウス 120a トラクタ 15PS 1台 ベンチ育苗施設 1式 全自動定植機 1台 包装機 1台	10,846 [粗収益 35,996 経営費 25,150]	2,000時間

(参考) 中山間地域の農業経営モデル

営農類型

野菜作（ピーマン）

地域類型

中山間

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 20a (借入地なし) ピーマン 20a	<ul style="list-style-type: none"> ・肥培管理など基本技術の徹底 ・集出荷施設を活用した選別・包装作業の省力化 	簡易パイプハウス 20a トラクタ 15PS 1台	2,254 [粗収益 5,966 経営費 3,712]	800時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

果樹作（露地みかん＋露地中晩柑）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 463時間 経営面積 175a （借入地なし） 極早生みかん 30a 早生みかん 40a 普通みかん 75a 露地中晩柑 30a	<ul style="list-style-type: none"> ・極早生、早生、普通、中晩柑を組み合わせた労力分散 ・マルチ栽培や根域制限栽培の導入によるブランド果生産 	選果機 1式	4,956 [粗収益 13,525] [経営費 8,569]	2,000時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 臨時雇用 4,052時間 経営面積 500a （うち借入地40a） 極早生みかん 80a 早生みかん 150a 普通みかん 170a 露地中晩柑 100a	<ul style="list-style-type: none"> ・優良園地の集積による経営規模拡大 ・根域制限栽培の導入面積拡大や高品質安定生産のための隔年交互結実栽培の導入 	選果機 1式	9,616 [粗収益 39,200] [経営費 29,584]	2,000時間

農業経営モデル（発展モデル）

営農類型

果樹作（露地みかん＋ぶどう（シャインマスカット））

地域類型

全域

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 臨時雇用 3,476時間 経営面積 440a （借入地なし） 極早生みかん 80a 早生みかん 150a 普通みかん 170a トンネルぶどう 40a	<ul style="list-style-type: none"> ・優良園地の集積による経営規模拡大 ・根域制限栽培の導入面積拡大や高品質安定生産のための隔年交互結実栽培の導入 ・シャインマスカットの導入による所得確保 	選果機 1式 トンネルハウス 40a	9,907 粗収益 35,000 経営費 25,093	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

果樹作（ハウスみかん）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 45a （借入地なし） ハウスみかん 45a	<ul style="list-style-type: none"> ・基本管理の徹底と土づくりによる単収向上 ・加温時期の分散と温度管理の徹底 ・省エネルギー対策による生産コスト削減 	耐候性ハウス 選果機	45a 1式 5,923 粗収益 22,500 経営費 16,577	1,600時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 3,700時間 経営面積 110a （借入地なし） ハウスみかん 110a	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫時期等の雇用労力の確保 ・遊休ハウスの活用による栽培面積の拡大 	耐候性ハウス 選果機	110a 1式 11,246 粗収益 55,000 経営費 43,754	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

果樹作（ハウスみかん＋ハウス中晩柑）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 50a （借入地なし） ハウスみかん 35a ハウス中晩柑 15a	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウスみかんと中晩柑の組み合わせによる労力分散 ・中晩柑新品種（にじゅうまる等）の導入による販売単価の向上 	耐候性ハウス 35a 普通ハウス 15a 選果機 1式	6,328 [粗収益 21,400 経営費 15,072]	1,400時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 2,194時間 経営面積 110a （借入地なし） ハウスみかん 80a ハウス中晩柑 30a	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休ハウスの活用等による経営面積の拡大 ・中晩柑新品種（にじゅうまる等）の導入による販売単価の向上 	耐候性ハウス 80a 普通ハウス 30a 選果機 1式	12,498 [粗収益 47,800 経営費 35,302]	2,000時間

農業経営モデル（標準モデル）

営農類型

果樹作（なし）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 93a （借入地なし） ハウスなし 20a トンネルなし 20a 露地なし 53a	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウス、トンネル、露地栽培を組み合わせた 労力分散 ・土づくり等の基本管理の徹底 ・計画的な改植による安定生産 	普通ハウス 20a トンネルハウス 20a スピートスプレー 1台 選果機 1式	5,360 [粗収益 14,375] [経営費 9,015]	1,700時間

農業経営モデル（標準モデル）

営農類型

果樹作（なし+ぶどう）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 80a （借入地なし） ハウスなし 20a トンネルなし 15a 露地なし 35a トンネルぶどう 10a	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウス、トンネル、露地栽培を組み合わせた 労力分散 ・土づくり等の基本管理の徹底 ・計画的な改植による安定生産 ・シャインマスカット等の高単価品種の導入 	普通ハウス 20a トンネルハウス （なし） 15a トンネルハウス （ぶどう） 10a スピートスプレー 選果機 1台 1式	4,677 [粗収益 13,313] [経営費 8,636]	1,500時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

果樹作（なし+もも）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 95a （借入地なし） ハウスなし 20a トンネルなし 20a 露地なし 45a ハウスもも 10a	<ul style="list-style-type: none"> ・なしとももの組み合わせによる収穫時期の分散 ・計画的な改植による安定生産 ・遊休ハウス等の活用によるハウスももの導入 	普通ハウス 20a トンネルハウス 20a 簡易パイプハウス 10a スピートスプレー 1台 選果機 1式	5,967 [粗収益 15,375 経営費 9,408]	1,800時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 経営面積 220a （借入地なし） ハウスなし 50a トンネルなし 50a 露地なし 100a ハウスもも 20a	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョイント栽培等の省力化技術導入 ・雇用労力確保による経営面積の拡大 ・低温要求量が少ないもも新品種の導入による安定生産 	普通ハウス 50a トンネルハウス 50a 簡易パイプハウス 20a スピートスプレー 1台 選果機 1式	11,353 [粗収益 35,875 経営費 24,522]	2,000時間

農業経営モデル（標準モデル）

営農類型

花き作（バラ）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 2,250時間 経営面積 50a （借入地なし） バラ 50a	<ul style="list-style-type: none"> ・統合環境制御温室の導入による施設管理の合理化 ・需要動向に即した品種の導入 ・生産安定・省力化のためのロックウール栽培導入 	硬質PFハウス 50a	4,144 [粗収益 40,500] [経営費 36,356]	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

花き作（キク）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 2,250時間 経営面積 50a （借入地なし） 電照キク 50a	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な電照と温度管理、土づくりの徹底 ・直挿しや灌水同時施肥等による省力化 ・自動選花機等省力機械の整備による低コスト・省力化 	普通ハウス 50a 育苗施設 1式 半自動定植機 1台	5,771 [粗収益 24,500 経営費 18,729]	2,000時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 2名 臨時雇用 1,800時間 経営面積 120a （借入地なし） 電照キク 120a	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用労力の確保による経営規模拡大 ・耐候性ハウスの導入による周年安定生産 ・周年出荷による市場からの信頼度向上 	普通ハウス 120a 育苗施設 1式 半自動定植機 1台	10,575 [粗収益 58,800 経営費 48,225]	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

花き作（トルコギキョウ）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 20a (借入地なし) トルコギキョウ 20a (2切)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需要動向に即した品種の導入 ・ 連作障害を軽減するための土壌消毒、土づくり ・ 整枝、摘蕾作業による高品質化 ・ 電照、CO₂施用等による開花調節、品質向上 ・ 2番花の需要期に合わせた開花前進 	普通ハウス 20a 育苗施設 1式 半自動定植機 1台	5,538 [粗収益 13,280 経営費 7,742]	1,300時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 経営面積 55a (借入地なし) トルコギキョウ 55a [1切 55a 2切 40a]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常時雇用の導入による経営規模の拡大、安定 ・ 周年化に向けた作型および他品目の導入 	普通ハウス 55a 育苗施設 1式 半自動定植機 1台	10,617 [粗収益 36,520 経営費 25,903]	2,000時間

農業経営モデル（標準モデル）

営農類型

畑作（茶）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 520時間 経営面積 500a （借入地なし） 茶 500a	<ul style="list-style-type: none"> ・被覆栽培の割合増加による高品質生産 ・生産基盤の整備と機械化による省力化 ・適期摘採と適正な加工技術 	茶加工場 1式 乗用防除機 1台 乗用摘採機 1台	7,227 [粗収益 18,430] [経営費 11,203]	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

水田作（米・大豆＋露地野菜（たまねぎ））

地域類型

平坦部

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 300a （借入地なし） 水稻うるち 195a 大豆 89a たまねぎ 216a 苗床 16a	<ul style="list-style-type: none"> ・経営・品種毎の団地化による作業の効率化 ・機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 ・余剰労力を活用した園芸作物の導入 ・作物の作付ローテーションによる生産安定 ・たまねぎの機械化一貫体系による省力化 ・品種・作型の組合せによる労力分散 	トラクタ 25PS 1台 田植え機 4条 1台 コンバイン2条刈 1台 乗用管理機 1台 半自動定植機 1台	5,250 〔粗収益 12,982〕 〔交付金 680〕 〔経営費 8,412〕	1,100時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 500a （うち借入地 200a） 水稻うるち 260a 水稻もち 65a 大豆 140a たまねぎ 400a 苗床 35a	<ul style="list-style-type: none"> ・経営・品種毎の団地化による作業の効率化 ・機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 ・園芸作物導入による所得向上 ・農業機械の共同利用による米・大豆の省力・低コスト生産 ・作物の作付ローテーションによる生産安定 ・たまねぎの鉄コンテナ機械化一貫体系による省力化 ・品種・作型の組合せによる労力分散 	トラクタ 35PS 1台 田植え機 5条 1台 コンバイン3条刈 1台 乗用管理機 1台 ドローン 1台 半自動定植機 1台	9,717 〔粗収益 23,529〕 〔交付金 1,069〕 〔経営費 14,881〕	1,600時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

水田作（米・（麦）・大豆＋露地野菜（レタス））

地域類型

平坦部

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 650時間 経営面積 350a （借入地なし） 水稻うるち 228a 大豆 123a レタス 298a	<ul style="list-style-type: none"> 経営・品種毎の団地化による作業の効率化 機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 余剰労力を活用した個別部門での園芸作物の導入 レタスの作型組合せによる労力分散と生産量確保 	トラクタ 35PS 1台 田植え機 5条 1台 コンバイン2条刈 1台 ベンチ育苗施設 1式 全自動定植機 1台	5,394 〔粗収益 18,134〕 〔交付金 936〕 〔経営費 13,675〕	2,000時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 臨時雇用 190時間 経営面積 1,000a （うち借入地700a） 水稻うるち 520a 水稻もち 130a 大豆 350a 大麦 200a 小麦 300a レタス 500a	<ul style="list-style-type: none"> 集落内での農地の効率的利用 経営・品種毎の団地化による作業の効率化 機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 法人での園芸作物導入による組合員の所得向上 レタスの作型組合せによる労力分散と生産量確保 	トラクタ 45PS 1台 田植え機 6条 1台 コンバイン4条刈 1台 乗用管理機 1台 ドローン 1台 ベンチ育苗施設 1式 全自動定植機 1台	8,401 〔粗収益 35,694〕 〔交付金 5,004〕 〔経営費 32,296〕	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

水田作（米・麦・大豆＋露地野菜（たまねぎ＋キャベツ））

地域類型

平坦部

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 400a （うち借入地 100a） 水稻うるち 208a 水稻もち 52a 大豆 122a 大麦 120a たまねぎ 140a キャベツ 140a 苗床 18a	<ul style="list-style-type: none"> 経営・品種毎の団地化による作業の効率化 機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 余剰労力を活用した個別部門での園芸作物の導入 作物の作付ローテーションによる生産安定 露地野菜の機械化による省力化と規模拡大 品種・作型の組合せによる労力分散 契約栽培による経営の安定 	トラクタ 25PS 1台 田植え機 4条 1台 コンバイン2条刈 1台 乗用管理機 1台 ドローン 1台 半自動定植機 （たまねぎ） 1台 ベンチ育苗施設 1式 全自動定植機 （キャベツ） 1台	5,924 〔粗収益 16,711〕 〔交付金 1,424〕 〔経営費 12,212〕	1,900時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 1,343時間 経営面積 600a （うち借入地 300a） 水稻うるち 312a 水稻もち 78a 大豆 182a 大麦 120a たまねぎ 390a キャベツ 90a 苗床 28a	<ul style="list-style-type: none"> 集落内での農地の効率的利用 経営・品種毎の団地化による作業の効率化 機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 法人での園芸作物導入による組合員の所得向上 作物の作付ローテーションによる生産安定 たまねぎの鉄コンテナ機械化一貫体系による省力化 品種・作型の組合せによる労力分散 契約栽培による経営の安定 	トラクタ 35PS 1台 田植え機 5条 1台 コンバイン3条刈 1台 乗用管理機 1台 ドローン 1台 半自動定植機 （たまねぎ） 1台 ベンチ育苗施設 1式 全自動定植機 （キャベツ） 1台	9,064 〔粗収益 28,196〕 〔交付金 1,883〕 〔経営費 21,014〕	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

水田作（米・麦・大豆＋露地野菜（たまねぎ＋れんこん））

地域類型

平坦部

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 300a （借入地なし） 水稻うるち 156a 水稻もち 39a 大豆 21a 大麦 105a たまねぎ 135a れんこん 75a 苗床 9a	<ul style="list-style-type: none"> 経営・品種毎の団地化による作業の効率化 機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 余剰労力を活用した個別部門での園芸作物の導入 作物の作付ローテーションによる生産安定 たまねぎの機械化一貫体系による省力化 品種・作型の組合せによる労力分散 	トラクタ 25PS 1台 田植え機 4条 1台 コンバイン2条刈 1台 半自動定植機 1台 乗用管理機 1台 れんこん堀り機 1台	5,235 粗収益 12,823 交付金 530 経営費 8,118	1,800時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 739時間 経営面積 500a （うち借入地200a） 水稻うるち 260a 水稻もち 65a 大豆 100a 大麦 45a 小麦 68a たまねぎ 338a れんこん 50a 苗床 25a	<ul style="list-style-type: none"> 集落内での農地の効率的利用 経営・品種毎の団地化による作業の効率化 機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 法人での園芸作物導入による組合員の所得向上 作物の作付ローテーションによる生産安定 たまねぎの機械化一貫体系による省力化 品種・作型の組合せによる労力分散 	トラクタ 35PS 1台 田植え機 5条 1台 コンバイン2条刈 1台 半自動定植機 1台 乗用管理機 1台 れんこん堀り機 1台	10,114 粗収益 23,142 交付金 1,288 経営費 14,316	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型	水田作 (米・麦・大豆+露地野菜(ブロッコリー(+レタス+キャベツ))	地域類型	平坦部
------	--	------	-----

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 940a (うち借入地640a) 水稻うるち 611a 大豆 329a 大麦 846a ブロッコリー 94a	<ul style="list-style-type: none"> 経営・品種毎の団地化による作業の効率化 機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 余剰労力を活用した個別部門での園芸作物の導入 作物の作付ローテーションによる生産安定 品種・作型の組合せによる労力分散 	トラクタ 35PS 1台 田植え機 6条乗用 1台 コンバイン3条刈 1台 乗用管理機 1台 ドローン 1台 ベンチ育苗施設 1式 全自動定植機 1台	5,223 粗収益 13,445 交付金 5,985 経営費 14,206	1,600時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 2名 臨時雇用 1,148時間 経営面積 1,000a (うち借入地700a) 水稻うるち 520a 水稻もち 130a 大豆 350a 大麦 100a ブロッコリー 100a レタス 500a キャベツ 300a	<ul style="list-style-type: none"> 集落内での農地の効率的利用 経営・品種毎の団地化による作業の効率化 機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 法人での園芸作物導入による組合員の所得向上 作物の作付ローテーションによる生産安定 露地野菜の機械化による省力化と規模拡大 品種・作型の組合せによる労力分散 契約栽培による経営の安定 	トラクタ 45PS 1台 田植え機 6条乗用 1台 コンバイン4条刈 1台 乗用管理機 1台 ドローン 1台 ベンチ育苗施設 1式 全自動定植機 (キャベツ・ブロッコリー) 1台 (レタス) 1台	6,789 粗収益 50,383 交付金 3,084 経営費 46,677	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

水田作（米・麦・大豆＋農作業受託）

地域類型

平坦部

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 810a （うち借入地 410a） 水稻うるち 421a 水稻もち 105a 大豆 284a 大麦 284a 小麦 527a 作業受託（収穫） 800a	<ul style="list-style-type: none"> ・作物・品種毎の団地化による作業の効率化 ・農地の面的集積による生産の効率化 ・機械化一貫体系による省力・低コスト生産 ・品種の組合せによる作期幅拡大 	トラクタ 35PS 1台 田植え機 5条 1台 コンバイン 3条刈 1台 乗用管理機 1台 ドローン 1台	5,440 粗収益 10,574 交付金 5,978 経営費 11,113	1,000時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営面積 1,400a （うち借入地 1,100a） 水稻うるち 728a 水稻もち 182a 大豆 490a 大麦 420a 小麦 980a 作業受託（収穫） 1,000a	<ul style="list-style-type: none"> ・作物・品種毎の団地化による作業の効率化 ・農地の面的集積による生産の効率化 ・大型機械化一貫体系による省力・低コスト生産 ・品種の組合せによる作期幅拡大 ・大豆不耕起播種や逆転ロータリ耕起同時播種など省力技術導入による安定生産 	トラクタ 45PS 1台 田植え機 6条 1台 コンバイン 4条刈 1台 乗用管理機 1台 ドローン 1台	10,029 粗収益 17,904 交付金 10,398 経営費 18,274	1,700時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

肉用牛経営（繁殖）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営規模 繁殖牛 39頭 稲わら収集 310a	<ul style="list-style-type: none"> ・分娩間隔短縮による子牛生産率の向上 ・ステージに応じた適切な飼養給与の実践 ・飼養管理の徹底による事故率低減 	トラクタ 50PS 1台 フロントローダー 1台 マニユアスプレッター 1台 レーキ 1台 ロールバレー 1台 ラッピングマシン 1台	5,557 [粗収益 18,600 経営費 13,043]	700時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営規模 繁殖牛 63頭 稲わら収集 500a	<ul style="list-style-type: none"> ・分娩間隔短縮による子牛生産率の向上 ・ステージに応じた適切な飼養給与の実践 ・飼養管理の徹底による事故率低減 ・フリーバーン等を利用した省力管理 	トラクタ 50PS 1台 フロントローダー 1台 マニユアスプレッター 1台 レーキ 1台 ロールバレー 1台 ラッピングマシン 1台	10,640 [粗収益 30,000 経営費 19,360]	1,100時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

肉用牛経営（肥育）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 339時間 経営規模 肥育牛 225頭 稲わら収集 2,000a	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージに応じた適切な飼養給与の実践 ・飼養管理の徹底による事故率低減 ・耕畜連携による稲わら等の確保 	トラクタ 50PS 1台 フロントローダー 1台 マニュアルレタダー 1台 レーキ 1台 ロールバレー 1台 ラッピングマシン 1台	5,544 [粗収益 162,000 経営費 156,456]	2,000時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 経営規模 肥育牛 442頭 稲わら収集 2,700a	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージに応じた適切な飼養給与の実践 ・飼養管理の徹底による事故率低減 ・耕畜連携による稲わら等の確保 ・自動給餌機などの導入による省力化 	トラクタ 50PS 1台 フロントローダー 1台 マニュアルレタダー 1台 レーキ 1台 ロールバレー 1台 ラッピングマシン 1台	10,549 [粗収益 318,000 経営費 307,451]	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

肉用牛経営（繁殖肥育一貫）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営規模 肥育牛 160頭 繁殖牛 18頭 経営面積 300a (借入地なし) 飼料作物 300a 稲わら収集 2,000a	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージに応じた適切な飼養給与の実践 ・飼養管理の徹底による事故率低減 ・分娩間隔短縮による子牛生産率の向上 	トラクタ 50PS 2台 フロントローダー 2台 マニュアルレグダー 2台 レーキ 2台 ロールバレー 2台 ラッピングマシン 2台	5,534 [粗収益 128,400 交付金 1,050 経営費 123,916]	2,000時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 2,524時間 経営規模 肥育牛 272頭 繁殖牛 30頭 経営面積 300a (借入地なし) 飼料作物 (夏・冬) 600a 稲わら収集 2,000a	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージに応じた適切な飼養給与の実践 ・飼養管理の徹底による事故率低減 ・分娩間隔短縮による子牛生産率の向上 ・キャトルステーション利用による省力化 	トラクタ 50PS 2台 フロントローダー 2台 マニュアルレグダー 2台 レーキ 2台 ロールバレー 2台 ラッピングマシン 2台	10,225 [粗収益 217,800 交付金 1,050 経営費 208,625]	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

酪農経営（酪農）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営規模 経産牛 57頭 経営面積 500a (うち借入地200a) 飼料作物 800a (夏・冬) 稲わら収集 600a	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージに応じた適切な飼養給与の実践 ・飼養管理の徹底による事故率低減 ・自給飼料の生産による省力化 ・牛群検定データによる牛群能力の把握 ・後継牛の確保 	トラクタ 50PS 1台 フロントローダー 1台 ブロードキャスター 1台 マニユアスプレッター 1台 モア 1台 レーキ 1台 ベールグラブ 1台 ロールバレー 1台 ラッピングマシン 1台	5,805 [粗収益 59,565 交付金 1,050 経営費 54,810]	1,900時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 臨時雇用 3,810時間 経営規模 経産牛 120頭 経営面積 1,100a (うち借入地800a) 飼料作物 1,400a (夏・冬) 稲わら収集 1,000a	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージに応じた適切な飼養給与の実践 ・飼養管理の徹底による事故率低減 ・自給飼料の生産による省力化 ・牛群検定データによる牛群能力の把握 ・ミルクパーラー導入による省力化 ・後継牛の確保 	トラクタ 50PS 1台 ブロードキャスター 1台 マニユアスプレッター 1台 モア 1台 レーキ 1台 ベールグラブ 1台 ロールバレー 1台 ラッピングマシン 1台	11,091 [粗収益 125,400 交付金 1,050 経営費 115,359]	2,000時間

農業経営モデル（標準モデルと発展モデル）

営農類型

養豚経営（養豚一貫）

地域類型

全域

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 経営規模 母豚 55頭 出荷豚数 1,120頭	<ul style="list-style-type: none"> ・優良系統種豚の計画的導入 ・人工授精技術等を利用した子豚生産率の向上 ・防疫対策の徹底による疾病予防、事故率の低減 ・エコフィード利用による低コスト生産 	フロントローダー 1台 マニユアスプレッター 1台	5,801 [粗収益 44,963] [経営費 39,161]	1,800時間

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 1名 臨時雇用 110時間 経営規模 母豚 130頭 出荷豚数 2,835頭	<ul style="list-style-type: none"> ・優良系統種豚の計画的導入 ・人工授精技術等を利用した子豚生産率の向上 ・防疫対策の徹底による疾病予防、事故率の低減 ・グループ管理システムの導入による作業の省力化、低コスト生産 	フロントローダー 1台 マニユアスプレッター 1台	11,063 [粗収益 106,275] [経営費 95,212]	2,000時間

農業経営モデル（発展モデル）

営農類型

農産加工（施設いちご+いちご加工品）

地域類型

全域

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
家族経営 2名 常雇用 3名 経営面積 75a （借入地なし） 施設いちご （高設） 75a いちご加工品 -	<ul style="list-style-type: none"> ・イチゴの生産安定が第一である。 ・イチゴのジャム加工で資産した。 ・加工時期を2～5月の単価が比較的下がる時期に設定した。 ・加工場は小屋等の改装で設定した。 	普通ハウス 75a 高設栽培施設 1式 ベンチ育苗施設 1式 農産加工作業小屋 1式 加工用機器 1式	13,698 [粗収益 55,652] (うち農産加工 2,475) 経営費 41,953	2,000時間

(参考) 集落営農法人の農業経営モデル

営農類型	集落営農法人 米・麦・大豆（+露地野菜） ※経営面積25ha規模	地域類型	平坦部
------	-------------------------------------	------	-----

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)
経営形態 集落営農法人 組合員 25名 経営面積 2,500a 水稻うるち 1,300a 水稻もち 325a 大豆 875a 大麦 1,250a 小麦 1,250a	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の作付ローテーションによる生産安定 ・品種・作型の組合せによる労力分散 ・機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 	トラクタ 45PS 1台 35PS 1台 田植え機 6条乗用 1台 5条乗用 1台 コンバイン4条刈 1台	14,723 〔粗収益 30,108〕 〔交付金 18,103〕 〔経営費 33,488〕 組合員1名当たり 農業所得 589

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)
経営形態 集落営農法人 組合員 8名 常雇用 2名 経営面積 2,500a 水稻うるち 1,300a 水稻もち 325a 大豆 866a 大麦 750a 小麦 750a たまねぎ 125a 苗床 9a	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の作付ローテーションによる生産安定 ・機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 ・たまねぎの機械化一貫体系による省力化 ・品種・作型の組合せによる労力分散 ・効率的な組織運営に向けた専従者（常雇用）の設定 	トラクタ 45PS 1台 35PS 1台 田植え機 6条乗用 1台 5条乗用 1台 コンバイン4条刈 1台 半自動定植機 1台 乗用管理機 1台	13,580 〔粗収益 33,803〕 〔交付金 13,466〕 〔経営費 33,689〕 組合員1名当たり 農業所得 1,698

(参考) 集落営農法人の農業経営モデル

営農類型	集落営農法人 米・麦・大豆（+露地野菜） ※経営面積50ha規模	地域類型	平坦部
------	-------------------------------------	------	-----

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)
経営形態 集落営農法人 組合員 25名 経営面積 5,000a 水稻うるち 2,600a 水稻もち 650a 大豆 1,750a 大麦 2,500a 小麦 2,500a	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の作付ローテーションによる生産安定 ・品種・作型の組合せによる労力分散 ・機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 	トラクタ 55PS 2台 45PS 1台 田植え機 8条乗用 1台 6条乗用 2台 コンバイン4条刈 2台	29,115 [粗収益 60,216 交付金 36,207 経営費 67,308] 組合員1名当たり 農業所得 1,165

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)
経営形態 集落営農法人 組合員 16名 常雇用 4名 経営面積 5,000a 水稻うるち 2,600a 水稻もち 650a 大豆 1,732a 大麦 1,500a 小麦 1,500a たまねぎ 250a 苗床 18a	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の作付ローテーションによる生産安定 ・機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 ・たまねぎの機械化一貫体系による省力化 ・品種・作型の組合せによる労力分散 ・効率的な組織運営に向けた専従者（常雇用）の設定 	トラクタ 55PS 2台 45PS 1台 田植え機 8条乗用 1台 6条乗用 2台 コンバイン4条刈 2台 半自動定植機 1台 乗用管理機 1台	28,026 [粗収益 67,606 交付金 26,933 経営費 66,512] 組合員1名当たり 農業所得 1,752

(参考) 集落営農法人の農業経営モデル

営農類型	集落営農法人 米・麦・大豆（+露地野菜） ※経営面積250ha規模	地域類型	平坦部
------	--------------------------------------	------	-----

<標準モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)
経営形態 集落営農法人 組合員 125名 経営面積 25,000a 水稻うるち 13,000a 水稻もち 3,250a 大豆 8,750a 大麦 12,500a 小麦 12,500a	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の作付ローテーションによる生産安定 ・品種・作型の組合せによる労力分散 ・機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 ・大型機械化一貫体系による省力・低コスト生産 	トラクタ 75PS 9台 55PS 2台 田植え機 10条乗用 9台 コンバイン 6条刈 4台 5条刈 1台 大豆コンバイン 2.1m刈 4台 1.5m刈 1台	144,550 [粗収益 301,081 交付金 181,034 経営費 337,565] 組合員1名当たり 農業所得 1,156

<発展モデル>

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)
経営形態 集落営農法人 組合員 80名 経営面積 25,000a 常雇用 20名 水稻うるち 13,000a 水稻もち 3,250a 大豆 8,750a 大麦 7,500a 小麦 10,000a キャベツ 1,250a	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の作付ローテーションによる生産安定 ・機械・施設の効率的利用による生産コストの低減 ・大型機械化一貫体系による省力・低コスト生産 ・露地野菜の機械化による省力化と規模拡大 ・品種・作型の組合せによる労力分散 ・契約栽培による経営の安定 ・効率的な組織運営に向けた専従者（常雇用）の設定 	トラクタ 75PS 9台 55PS 2台 田植え機 10条乗用 9台 コンバイン 6条刈 4台 5条刈 1台 大豆コンバイン 2.1m刈 4台 1.5m刈 1台 ベンチ育苗施設 1式 全自動定植機 1台	144,210 [粗収益 339,170 交付金 147,933 経営費 342,893] 組合員1名当たり 農業所得 1,803

(参考) 中山間地域において農地維持に取り組む経営モデル

営農類型	農作業受託組織 (米+飼料作物)	地域類型	中山間地
------	------------------	------	------

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)
経営形態 農作業受託組織 経営面積 2,000a 作業受託 (耕起) 1,300a 作業受託 (田植) 1,300a 作業受託 (収穫) 1,300a 飼料用米 700a	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹作業の作業受託による米作の効率的生産 ・ 飼料用米の生産～販売までの一括受託による受託組織の経営安定 ・ 土地の所有者による米作の管理作業の実施による高品質生産 	トラクタ 25PS 4台 20PS 1台 田植え機 5条乗用 2台 4条乗用 2台 コンバイン 3条刈 1台 2条刈 2台	3,321 [粗収益 5,980 交付金 5,600 経営費 8,259]

作業単価 (円/10a)	耕起	田植	収穫
	18,000	10,000	18,000

農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	野菜作（施設いちご）	地域類型	全域
モデルのポイント	環境制御技術と「いちごさん」を組み合わせた生産性の高いいちご経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 8名 臨時雇用 235時間 経営面積 160a （借入地なし） 施設いちご （土耕＋環境制御） 105a 施設いちご （高設＋環境制御） 55a	<ul style="list-style-type: none"> ・環境制御技術の導入による飛躍的な収量向上 ・収量予測システムを活用した安定出荷体制の確立 ・暖候期の下温対策や四季なりいちごの導入に いる収穫期間の延長 ・育苗センターやパッケージセンター活用によ る作業の分業化 ・積極的な雇用導入による規模拡大 	普通ハウス 105a 耐候性ハウス 55a 高設栽培施設 1式 環境制御装置 1式 トラクタ 15ps 1台 ベンチ育苗施設 1式	39,217 [粗収益 132,981] [経営費 93,764]	2,000時間

農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	野菜作（施設きゅうり）	地域類型	全域
モデルのポイント	統合環境制御技術を活用した生産性の高い大規模きゅうり経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 18名 経営面積 360a (うち借入地160a)	<ul style="list-style-type: none"> 年間労働配分を考慮した品種、作型、栽培方法の組み合わせ 統合環境制御技術の導入による飛躍的な収量向上 収量予測システムを活用した安定出荷体制の確立 収穫ロボットを活用した収穫作業の軽減 積極的な雇用導入による規模拡大 匠の技の伝承システムの開発による雇用教育の整備 	耐候性ハウス 110a 硬質PFハウス 250a 環境制御装置 1式 トラクタ 15ps 2台	48,085	2,000時間
施設きゅうり 110a			〔粗収益 342,544〕 〔経営費 294,459〕	
施設きゅうり (環境制御) 250a				

農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	果樹作（温州みかん（露地・ハウス）＋中晩柑）	地域類型	全域
モデルのポイント	高品質みかんの周年供給体制の導入による収益性の高いみかん経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 （千円）	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 3名 臨時雇用 9,590時間 経営面積 680a （うち借入地150a） 早生みかん 100a 普通みかん 100a ハウスみかん 250a 露地中晩柑 100a ハウス中晩柑 130a	<ul style="list-style-type: none"> ・露地、施設栽培の組み合わせによる周年雇用の確保 ・根域制限栽培の導入による露地みかんのブランド果安定生産 ・土づくり等の基本管理の徹底による単収向上 ・優良品種（にじゅうまる等）の導入による販売単価の向上 	耐候性ハウス 250a 普通ハウス 130a 選果機 1式	43,748 [粗収益 186,800 経営費 143,052]	2,000時間

農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	花き作（トルコギキョウ）	地域類型	全域
モデルのポイント	トルコギキョウ専作大規模経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 6名 経営面積 195a （借入地なし） トルコギキョウ 195a 〔1切 195a〕 〔2切 120a〕	<ul style="list-style-type: none"> ・養液土耕装置による肥培管理の自動化 ・統合環境制御技術による高度な計画生産 ・常時雇用導入による経営規模の拡大 ・定植、防除作業の機械化 	普通ハウス 195a 育苗施設 1式 半自動定植機 1台	41,130 〔粗収益 129,480〕 〔経営費 88,350〕	2,000時間

農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	水田作（米・大豆＋露地野菜（たまねぎ））	地域類型	平坦部
モデルのポイント	米・大豆と露地野菜を組み合わせた生産性の高い大規模水田農業経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 2名 臨時雇用 2,433時間 経営面積 1,700a （うち借入地1,400a） 水稲うるち 884a 水稲もち 221a 大豆 525a たまねぎ 1,700a 苗床 70a	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の面的集積による生産の効率化 ・農業機械の共同利用による米麦、大豆の省力・低コスト生産 ・作物の作付ローテーションによる安定生産 ・たまねぎの鉄コンテナ機械化一貫体系による省力化大 ・年間労働配分を考えた作目、品種、作型の組合せ、作期幅の拡大 ・契約栽培による経営の安定 ・雇用労働力を活かした企業的労務管理の実施 	トラクタ 45PS 1台 田植え機 6条乗用 1台 コンバイン 4条刈 1台 乗用管理機 2台 ドローン 1台 半自動定植機 1台	38,718 粗収益 96,083 交付金 4,010 経営費 61,375	2,000時間

農業経営モデル（佐賀さいこうモデル）

営農類型	肉用牛経営（繁殖肥育一貫）	地域類型	全域
モデルのポイント	繁殖・肥育の一貫化による経営安定化やキャトルステーション利用による省力化に取り組む大規模な肉用牛一貫経営		

経営形態 経営規模	経営技術のポイント	主要装備	農業所得 (千円)	主たる従事者の 労働時間
法人経営 2名 常雇用 3名 臨時雇用 2,310時間 経営規模 肥育牛 800頭 繁殖雌牛 122頭 経営面積 300a （借入地なし） 飼料作物 （夏・冬） 600a 稲わら収集 6,000a	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージに応じた適切な飼養給与の実践 ・飼養管理の徹底による事故率低減 ・分娩間隔短縮による子牛生産率の向上 ・キャトルステーション利用による省力化 ・耕畜連携による良質粗飼料の確保 ・フリーバーン等を利用した省力管理 	トラクタ 50PS 2台 フロントローダー 2台 マニユアスプレッター 2台 レーキ 2台 ロールバレーラー 2台 ラッピングマシン 2台	39,949 〔粗収益 657,000〕 〔交付金 1,050〕 〔経営費 618,101〕	2,000時間